

【スポーツ推進計画の体系図】

スポーツを楽しみ、健康で長寿のまちひびっか

基本目標	基本的施策	取組視点			具体的施策
		する	観る	支える	
1 生涯スポーツの推進	(1) 成人のスポーツ機会の充実	○		○	①スポーツの普及啓発 ②生活習慣病予防のための運動教室 ③健康づくりの推進 ④地域における身近な運動機械の充実 ⑤スポーツ・レクリエーション活動の充実 ⑥ボランティアする機会の提供
	(2) 子どものスポーツ機会の充実	○			①親子で楽しむスポーツ活動の充実 ②小中学校体育の授業内容の充実 ③中学校部活動の推進 ④子どもを対象としたスポーツ活動の充実
	(3) 高齢者のスポーツ機会の充実	○			①介護予防の運動の充実 ②高齢者を対象とした地域における身近な運動機会の充実
	(4) 障がい者のスポーツへの参加促進	○			①障がい者スポーツ活動の支援 ②障がい者のスポーツ・レクリエーション活動の充実
2 地域スポーツの推進	(5) 地区体育・スポーツの普及・発展			○	①地区体育・スポーツの振興 ②地域スポーツの底辺拡大
	(6) ニュースポーツ・レクリエーションの普及			○	①スポーツ推進委員の資質向上
	(7) 総合型地域スポーツクラブの育成・支援	○			①総合型地域スポーツクラブの育成・支援
	(8) 大学などとの連携強化			○	①大学と地域との連携強化
3 トップスポーツの推進	(9) 地元トップアスリートの輩出	○		○	①選手の競技力強化 ②選手の派遣 ③表彰制度の充実 ④優秀選手などによる支援 ⑤平塚市体育協会の自立支援
	(10) 湘南ベルマーレとの連携強化		○	○	①サッカー文化の振興 ②サッカーを中心としたスポーツ振興 ③自転車を活用したスポーツの推進
	(11) スポーツ指導者の発掘と活用			○	①スポーツ指導者の確保 ②スポーツ指導者の育成 ③スポーツ指導者の派遣
	(12) トップスポーツの活用		○		①トップスポーツに触れる機会の拡大 ②全国規模大会などの招致 ③トップアスリートの活用
4 スポーツを楽しむ環境づくり	(13) スポーツ施設の充実			○	①効率的な施設の運営・管理 ②その他の施設の有効活用
	(14) スポーツ情報の提供の充実			○	①スポーツ情報の提供

1. 事業の位置付け		2. 事業内容		3. 事業の検証		4. 今後の事業展開	
地区 No.	個別事業概要	実施場所	実施事業名	目的・概要	成果(実績等)	評価	継続 方向性
1-6	スポーツ普及事業の開催	平塚市まちづくり財団	ひらつか市民スポーツフェスティバル開催事業	地域住民のスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、生涯にわたる健康・体力づくりを推進するための機会を提供することで、健康で明るいまちづくりに寄与するため、総合公園全施設を利用してスポーツ体験教室等を実施します。	第2回開催 平成27年3月29日(日) 会場 平塚市総合公園 参加種目団体 32団体 来場者 15,000名(参加者7,253名、役員・関係者584名)	トップアスリートを活用しながら体験教室を主体としたイベントで、市民のスポーツへの興味・関心を高め、様々な種類のスポーツをする機会を提供できた。本市のスポーツ振興、市民の健康づくりに寄与した。	※上記の判断理由 スポーツを親しむ機会を提供するために今後も継続する。
1-7	スポーツ普及事業の開催	スポーツ課	ひらつか市民スポーツフェスティバル開催事業(後援)	地域住民のスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、生涯にわたる健康・体力づくりを推進するための機会を提供することで、健康で明るいまちづくりに寄与するため、総合公園全施設を利用してスポーツ体験教室等を実施します。	第2回開催 平成27年3月29日(日) 会場 平塚市総合公園 参加種目団体 32団体 来場者 15,000名(参加者7,253名、役員・関係者584名)	トップアスリートを活用しながら体験教室を主体としたイベントで、市民のスポーツへの興味・関心を高め、様々な種類のスポーツをする機会を提供できた。本市のスポーツ振興、市民の健康づくりに寄与した。	新しいイベントなので、市民への関心をより高めるために、継続事業とする。
2-1	ビーチスポーツ普及事業の開催	みどり公園・水辺課	各種ビーチスポーツ体験会の開催(ビーチバレー、ビーチラグビー、ビーチテニス、ライフセービング等)	青少年の健全育成とビーチスポーツの普及、新たな海岸利用の提案するため、各種ビーチスポーツ体験会を開催します。	4~9月及び3月の各月にビーチバレー等のビーチスポーツ体験会を開催しました。	各回とも20~50名程度の参加があり、新たなスポーツに接する機会を提供することができました。	相模湾でも数少ないビーチスポーツの拠点として、今後ともビーチスポーツに接する機会の提供と普及に努めていきます。
2-2	ビーチスポーツ普及事業の開催	スポーツ課	BEACH RUGBY JAPAN TOUR2014 第24回関東大会及び第19回全国大会	ビーチスポーツを広くPRし普及を図るとともに市民に競技レベルの高いスポーツの観戦の機会を提供するため、ビーチパークで行われているビーチラグビー全国大会に運営補助金を交付します。	全国大会16チーム、関東大会201チーム	ビーチスポーツのひとつであるビーチラグビーを広くPRできるとともに本市のPRにも貢献し、市民に競技レベルの高い大会を観戦できる機会を提供できた。	補助は継続予定で、補助額は財政状況等に応じる。
3	運動体験教室	健康課	鹿間マイナスインス教室	生活習慣病予防のために、運動の実践を通して生活習慣の改善を図り、運動習慣を身につけるため、各種教室を開催します。	鹿間マイナスインス教室6日間全4クール24回開催 参加者延329名 糖尿病予防教室3日間全3クール6回開催 参加者延134名	参加者からは生活習慣を振り返りきつかけとなり、運動を継続することの大切さが分かった、と言う声が聞かれた。	開催日を変更し幅広い層に参加いただけるよう工夫しながら同様の内容で継続する。
4	健康づくり推進事業	健康課	健康づくり推進事業	市民の健康づくり運動を推進するため、健康づくりのきっかけとなる活動(ウォーキングなど)を実施します。	ウォーキング10回参加人数延べ824名、くすのき体操!48回参加人数延べ2,970名、体力チェック9回参加人数延べ1,012名	委託契約で決めている設定以上の回数が実施でき多くの参加者があった。	前年度と同様の活動を実施する
5	健康推進員養成講座	健康課	健康推進員養成講座	健康推進員として健康づくりの重要性を理解し自主的に活動できるようにするため、養成講座を実施します。	養成講座全12回開催。参加者実人数20名 述人数207名	「自分たちの健康は自分でつくり、守る」という地域での健康づくり活動を推進する意欲・意識の動機づけとなり、健康推進員の養成に繋がった。	前年度に引き続き講義の周知を行いより多くの参加者及び健康推進員を養成していく。
6	健康推進員養成講座	健康課	健康推進員スキルアップ!講座	健康推進員が地域において健康づくり活動のリーダー的な役割を担い、地域において活動を進めるようになるため、実質の向上を目指す講座を開催します。	スキルアップ!講座全6回開催 参加者実人数80名	地域で安全に健康づくり活動を行うために必要な知識・技術を多くの参加者が習得できた	前年度に引き続き多くの健康推進員に地域で安全にウォーキングや体操、体力測定を実施していくための知識・技術の普及を行っていく。

7	地域健康づくり活動支援プログラム	健康課	地域健康づくり活動支援プログラム	地域の健康づくりを目的として活動しているグループに対し、健康づくりに関する知識や技術の向上を図るため、講座の開催や講師を派遣します。	全12回実施 参加者延人数383名	参加者アンケートからも日頃の健康づくり活動に生かしたいという声が多数聞かれ、目的を達成することができた	継続	地域で安全かつ効果的な健康づくりを実施するための知識・技術を引き続き普及していく
8	地域健康づくり支援事業	健康課	地域健康づくり支援事業	市民回休及びびグループの健康づくりの知識・技術の向上を図るため、依頼に応じて健康教育、健康相談等を実施します。	全26回実施 参加者延人数1091名	前年度より参加者数が増加し、地域で行う健康づくりの知識・技術の普及に寄与することができた	継続	前年度に引き続きより多くの市民に健康づくりの知識・技術を普及し、自身の健康を考えるきっかけを促していく
9	公民館における自主事業等	中央公民館	公民館における自主事業等	スポーツに親しむ機会を市民に提供するため、公民館主催の自主事業・家庭教育級・高齢者学級等の事業を実施します。	100事業、延5,692名が参加。	親子を対象としたニュースポーツの体験教室や、高齢者向けの自宅で出来る介護予防体操など、年代に合わせた学習機会を提供した。	継続	実施にあたっては、地域のスポーツ推進員など地域の講師を積極的に活用する。
10	市民総合体育大会・各種スポーツ大会	スポーツ課	市民総合体育大会・各種スポーツ大会の開催	スポーツを愛好する多くの市民にスポーツ活動の機会を提供し、スポーツを通じて健康明朗な心身の育成を図ると共に、住民相互の親睦を図るため、地区体育協会の単位での対抗戦形式での市民総合体育大会や女性スポーツ大会を開催します。	第63回市民総合体育大会夏季(3892名)、ニュースポーツ(429名)、女性スポーツ大会(バドミントン大会:40チーム、卓球大会:22チーム、テニス大会:16ペア、バレーボール大会16チーム)、駅伝競走大会(35チーム)、ナイトソフトボール大会(9チーム)	体力・技術の向上、地域交流、仲間づくりなどニュースポーツによる効果を得ることができ、19名が観るに支える「スポーツ」としての機会を提供できた。	事業縮小	スポーツをする機会の提供として市民総合体育大会・大会などは継続するものの女性スポーツ大会、ナイトソフトボール大会は各種自主管理団体等に大会継続を依頼し、主催事業を精選した。
11	市民体育レクリエーション地区大会	中央公民館	市民体育レクリエーション地区大会	スポーツ、レクリエーション活動の向上と健康の増進を図るとともに、地域住民相互の親睦と交流を促し、明るい地域づくりの推進を図るため、各地区でレクリエーション大会を実施します。	全26会場にて実施し、延21,819名が参加。	一部会場では天候の影響を受けたため、昨年度比990名減となった。しかし、雨天となった地区ではグラウンドよりも採い体育館を会場として実施したことにより、地域住民の交流が活発に行われたという姿が見られた。	継続	多くの地域住民が参加できよう、今後も多様な競技種目を実施していく。
12	スポーツ教室・健康講座	平塚市まちづくり財団	スポーツ教室・健康講座	市民が生涯にわたるスポーツに親しむため、スポーツ教室を実施します。	財団主催スポーツ教室33事業参加者8,659人(子どもを対象とした事業を除く。)	定員数に成じた参加者があり、参加者の楽しんでいる様子も伺えスポーツを親しむ機会を提供できた。	継続	スポーツを親しむ機会を提供するために今後も継続する。
13	手話ダンスによる健康づくり事業	スポーツ課	手話ダンスによる健康づくり事業	手話を取り入れたエンターテインメントグループの「HAND SIGN」連携し、子どもから高齢者、障がい者が健康で、いつまでもいきいきと暮らしていけるまちづくりを目指し、運動・スポーツ活動のきっかけづくりとするため、手話ダンスを活用した事業を実施します。	・手話ダンスグループ「HAND SIGN」による公演 年3回 ・ワークショップ(手話ダンス教室) 年24回(3クール) 参加者 延べ1,137人 ・ワークショップ受講者による成果発表 年4回	HANDSIGNによる公演やワークショップの開催など、手話ダンスを通して健康づくりに寄与できた。	継続	手話ダンスの普及や指導に携わる人材の育成を図っていく。
14	スポーツボランティア登録制度の創設	スポーツ課	平塚市スポーツボランティア制度運営事業	市民の誰もが生涯にわたってスポーツを楽しむ、いつまでもいきいきとした生活を送れるよう支えるスポーツの観点からスポーツボランティアの普及及び活動の促進を図るため、スポーツボランティア登録制度を創設します。	新規事業のため、実績等なし	なし	継続	新規事業のため。

5	スポーツボランティアの活用	スポーツボランティアの活用	ボランティア活動の機会を提供するため、市が開催するスポーツ大会などにスポーツボランティアを活用します。	新長業のため、実績等なし	なし	継続	新長業のため。 毎回、多数の参加者があり、ニーズは高いと考 えている。
6	ミニミニ運動会	ミニミニ運動会	主に開放保育参加親子を対象として、親子の交流・ふれあいを深めるため、運動会を実施します。	4回開催し児童188人、保護者173人が参加した。	保護者と乳幼児のふれあいを深めることができ た。	継続	
7	親子で遊ぼうフェスティバル	親子で遊ぼうフェスティバル	市民・大学交流事業として、乳幼児(0歳から未 就学児)と保護者を対象に、親子の交流・ふれ あいを深めるため、運動会を実施します。	乳幼児と保護者186組488人が参加した	神奈川大学の学生の力を借りながら、保護者と 乳幼児のふれあいを深めることができました。	継続	毎年大勢の乳幼児と保護者に参加いただいで おり、ニーズは高く、市民・大学交流事業として 継続して実施したい。
8	計画訪問	幼稚園・小中学校訪問	指導力の向上を図るため、授業研究を通して、 教育指導のあり方や実施上の課題などにつ いて研究協議します。	中学校で行われたダンスの授業に、市内の15 校の中学校より14名の保健体育科教員が参 加した。また、小学校教員の参加もあった。	研究協議を深めることができ、指導力の向上を 図ることができた。	継続	教員の指導力向上のために、今後も継続して いく。
9	中学校部活動研究推進 協議会	中学校部活動推進事業	部活動の課題を解決するため、中学校部活 動あり方検討会の報告をもとに、具体的取り組 みについて研究の実践を行います。	平成26年6月26日(木)に実施。部活動の活 性化についての協議を行った。	部活動の活性化のために必要なことについて 協議し、方向性について検討することができ た。	継続	部活動の活動内容に充実のために、今後も継 続していく。
10	中学校部活動指導者派 遣事業	中学校部活動推進事業	中学校における部活動育成及び活性化のため、 各学校の要請に応じて専門的資質を有す る地域指導者を運動部及び文化部顧問の指導 協力者として派遣します。あわせて地域指導者 に対しての講習会を実施します。	地域指導者派遣期間は平成26年4月1日(火) から平成27年2月28日(土)。延べ127人の 地域指導者が総計7,786単位時間活動。	学校の顧問不足や放課後の会議等で指導時 間の確保がでない傾向が多い中、生徒の意 識の向上、より高い技術指導の提供等の面で 大いに有効であった。	継続	生徒の意欲向上さらには高い技術指導の提供 のために、今後も継続していく。
11	中学校全国・関東大会等 出場者激励事業	中学校全国・関東大会等出場者激 励事業	心身ともに健全な中学生の育成のため、全国・ 関東大会及びこれに準ずる大会・コンクール等 に出場する中学生を激励します。また、激励金 を交付し活動を支援します。	運動部については、関東大会出場者27人に対 し、119,000円を支給した。また、全国大会 出場者17人に対し、81,000円を支給した。	全国・関東大会に出場する生徒の激励をす ることができた。また、激励金については、大会参 加時の支度金として有意義に活用されている。	継続	全国・関東大会に出場する選手を激励するた めに、今後も継続していく。
12	青少年交流体験事業	平成26年度平塚市青少年交流体 験事業	平塚在住の中学生が地元でできる自然体験を 通じて地域に対する愛着をもつとともに、集団 活動を行うことにより、自主性、協同性、他人を 思いやる心を育て、中学生同士の相互交流を 深めるため、びわく青少年の家に宿泊しマリン スポーツや野外炊事などを体験します。	募集期間 6月1日～6月27日 定員50名(男25 名、女25名) 応募人数 57名 抽選を行い50名を選出 直前キャンセル3名があり、参加人数計47名	参加人数に対し、対応するスタッフの人数が少 なく、全体への配慮が難しかったため集団に 分け込みにくい子への対応が十分ではなかつ たが、参加者より楽しかった「友達達がたくさん できた」との声が多数あり、ある程度目標を達 成したものと考える。	継続	青少年課として、重点的に他の事業を推進する との方向性により予算配分を再考し、今後の展 開が難しくなっただけのため廃止する。

31	ゆめクラブ湘南平塚スポーツ大会	高齢福祉課	老人クラブ支援事業	スポーツを楽しむことを通じて高齢者の生きがい、高揚を図るとともに社会との連帯感を養成し、もって高齢者福祉の向上を図るため、ゲームボール競争等気軽に楽しめる目のあるスポーツ大会を実施します。	参加者1500人	高齢者の生きがいづくりや交流、健康の保持増進に役立った。 なお、定量的な評価は難しい。	継続	スポーツをするきっかけづくりのため、競技種目を検討し継続する
32	ゆめクラブ湘南平塚グラウンドゴルフ大会	高齢福祉課	老人クラブ支援事業	競技を通じ友好と連帯を深めつつ、お互いに生きがいと健康の保持増進に役立て、高齢者の福祉の発展に寄与するため、グラウンドゴルフ大会を実施します。なお、湘南ブロック老連予選会を兼ねます。	参加者180人	高齢者の生きがいづくりや交流、健康の保持増進に役立った。 なお、定量的な評価は難しい。	継続	高齢者の健康保持に加え、湘南ブロック老連予選会を兼ねているため
33	障がい者スポーツ大会などへの参加支援	障がい福祉課	障がい者スポーツ大会などへの参加支援	障がい者に対する市民の理解を深め、障がい者の社会参加を促進するため、各種障がい者スポーツ大会への参加を支援します。	ボウリング 20名、フライングディスク 41名 陸上競技会(知的) 28名 陸上競技会(身体) 46名 卓球・STT 32名 水泳競技会 2名	例年と比べても特段人数の増減はなく、参加者の健康維持に寄与した。	継続	障がい者である市民の方の健康維持はもろもろのこと、職員によっても障がい者である市民の方との交流業務のため継続して行う。
34	心身障がい児者レクリエーション大会	障がい福祉課	心身障がい児者レクリエーション大会	障がい者に対する市民の理解を深め、障がい者の社会参加を促進するため、レクリエーション大会を実施します。	ふれあいミニ運動会参加者数 716名	本年も多数の障がい者・市民の参加があり、社会参加を促進することができた。	継続	障がい者、市民、交流大学生、職員がミニ運動会に参加し交流をすることが出来る機会であり、本事業を楽しみに行っている障がい者が多い。そのため継続して行うことが必要である。
35-2	地区体育振興事業	スポーツ課	地域のスポーツ活動委託事業	地域住民のスポーツ活動を推進するため、各地区体育振興会に委託し、地域に即成したスポーツ行事を開催します。	地区体育振興会において20事業(参加者9664名)を実施しました。	各地区において様々なスポーツ事業を実施し、地域住民のスポーツ活動の促進に寄与した。	継続	地区体育振興会は各各地区単位で組織された団体であり、地域のニーズに応じた地域スポーツの推進を図るためには、当団体へ委託し事業を継続することが適当であるため。
36	スポーツ普及員の検討	スポーツ課	スポーツ普及員の創設	地域でスポーツの普及を担う人材を確保するため、スポーツ普及員の創設に向けた検討を行います。	新規事業のため、実績等なし。	なし	継続	スポーツ推進審議会で検討する。
37-1	市民活動団体などの協働	協働推進課	市民活動団体などとの協働事業	行政が抱える課題や地域課題を解決するため、市民活動団体と行政が協働して事業を実施します。	平成28年度からスポーツに関する2事業を実施 ①市内スポーツ情報ポータルサイト構築運営事業 ②小中学校運動場、体育館個人開放利用促進事業	市民活動団体と行政がお互いのノウハウを活かしながらそれぞれの事業に着手し、事業展開が図られている。	継続	3年間は協働事業として実施する。
37-2	市民活動団体などとの協働	スポーツ課	市内スポーツ情報ポータルサイトの構築・運営事業	スポーツを希望する市民がいつでも、どこでも、手軽にポータルページから市内のスポーツ団体・イベントに関する活動情報を得ることが出来るようにするため、協働事業として平塚市内のスポーツ情報を取り纏めたポータルサイトを構築・運営します。	ポータルサイトの総合設計・テスト 79団体のスポーツ団体のページの作成。 32施設のスポーツ施設の情報掲載。	多くのスポーツ団体や施設情報の掲載を行うのみならず、スポーツ団体がイベント等の記事投稿ができる機能を整備することにより、市民が関心あるスポーツ情報をいつでも、どこでも、手軽に「得る」事ができる様にサイトの構築を行うことができた。	継続	平成26年度は協働事業の1年目の年であり、主にサイトの構築作業を行った。今後、平成27、28年度で事業の目的を達成できる様に、事業を継続する。

38-1	スポーツ推進委員研修会	平塚市スポーツ推進委員協議会	スポーツ推進委員活動事業	スポーツ推進委員の資質の向上を図るため、スポーツ推進委員協議会が委員に向けた研修会を開催します。	年6回開催(参加者数 夏300人) また、各地域でのスポーツレクリエーションの普及振興に努めた。	年5回開催(参加者数 夏300人) また、各地域でのスポーツレクリエーションの普及振興に努めた。	スポーツ推進委員が地区住民にスポーツレクリエーションに関する指導、助言をする上で有効な事業のため、引き続き継続する。
39	県スポーツ推進委員研修会などへの派遣	スポーツ課	スポーツ推進委員活動事業	スポーツ推進委員の資質の向上を図るため、県スポーツ推進委員連合会や西湘ブロックなどの研修会に委員を派遣します。	関東・県の研究大会や西湘ブロック研修会計35名が参加	ニュースポーツ等の実技等の研修を受けたことで、資質の向上が図られた。	スポーツ推進委員が地区住民にスポーツレクリエーションに関する指導、助言をする上で有効な事業のため、引き続き継続する。
40	総合型地域スポーツクラブの相談窓口の設置	スポーツ課	総合型地域スポーツクラブの相談・支援事業	総合型地域スポーツクラブの新設や運営等の相談・支援を行うため、相談窓口を設置します。	市内の創設済みクラブ(3クラブ)、創設準備中クラブ(1クラブ) 特に、創設準備中クラブについては、県の所管課と連携し、視察やヒアリング等の相談を実施した。	県の所管課や各種関係団体のハイブ役として、身近な相談窓口として必要のため、継続して実施する。	
41-2	平塚市中学生陸上競技教室	スポーツ課	平塚市民・大学交流事業【スポーツ訪問団】「平塚市中学生陸上競技教室」	市民と大学がスポーツによる交流を通して、生涯スポーツの普及を図るとともに、地域と大学の発展に資するため、大学交流事業として陸上競技教室を開催します。	市内在住・在学の中学生326名が参加	全国でもトップクラスの成績を誇る東海大学陸上競技部の直接指導を受けることができ、また指導者の知識を得る場ともなっている。また、地域と大学の連携・発展へも寄与した。	参加者アンケートにおいて満足「少々満足」の割合が98%を超えている。才学生の課外選手との直接指導は参加者にとっても良い機会であり、今後も継続する。
42-3	平塚市民・大学スポーツ交流フェスタ	スポーツ課	2014 平塚市民・大学スポーツ交流フェスタ	市民と大学がスポーツによる交流を通して、生涯スポーツの普及を図るとともに、地域と大学の発展に資するため、大学交流事業として陸上競技教室を開催します。	平塚市ロートレーニス大会を開催。また、スポーツ教室として「中学生卓球教室」及び小学生サッカー教室を開催。参加者延べ624名が参加。	多数の参加者がいるため、生涯スポーツの普及振興のため、継続していく。	
43-2	東海大学との協働による小中学校体育施設個人開放事業	スポーツ課	平塚市立小中学校運動場、体育館個人利用促進事業	市民が身近な体育施設でスポーツをする場を提供するため、東海大学地域スポーツクラブと協働して、小中学校体育施設を個人でも利用できるよう開放します。	小中学校の体育館を利用して、一人でも利用できる個人利用の日を設けた。年19回 金目中学校 年10回 参加者 延べ549人	身近な体育施設を個人でも利用できることにより、スポーツを実施する機会が増えた。	3年間は協働事業として実施する。
44-2	競技力強化事業	スポーツ課	競技力強化委託事業	国体選手の養成、本市体育協会所属選手の強化養成を図るため、平塚市体育協会に競技力強化事業として委託します。	平塚市体育協会所属の加盟団体が、選手強化に努める指導者講習会、大会、教室事業等を開催し、国体選手養成や体育協会関係選手の強化育成を実施することが出来た。国体出場選手16名(女2名、夏14名)	平塚市体育協会加盟の選手が全国規模の大会で優勝するなど、トップアスリートを輩出する環境づくりに寄与した。	国体大会や全国大会等で活躍した選手が表彰されるスポーツ優秀選手表彰者等も輩出していることから、今後も継続する。
45-2	市町村対抗「かながわ」伝記陸上大会などへの選手派遣	スポーツ課	選手派遣事業	駅伝大会を通じて、市町村相互の交流や競技力の向上を図るとともに、健康、明朗な心身の育成を図るため、かながわ駅伝に選手を派遣します。	11名の選手を派遣し、成績は10位	選手選手、大会参加を通じて、市町村相互の交流や競技力の向上を図ることが出来た。	選手選手、大会参加を通じて、市町村相互の交流や競技力の向上を図ることが出来るため、継続して実施する。

46-2	スポーツ優秀選手表彰	スポーツ課	平塚市スポーツ優秀選手表彰	スポーツへの興味関心を高めるとともにスポーツの競技会において優秀な成績を収めた選手等の表彰を実施するため、スポーツ優秀選手として表彰します。 ※平塚市スポーツ優秀選手表彰規定	平成26年度平塚市スポーツ優秀選手 個人 14名 団体 2団体	スポーツをする人にとっての目標になるほか、スポーツへの夢や感動、誇りや喜びなどに繋がることに寄与している。	継続	表彰基準等を明確にして、継続事業とする。
46-3	スポーツ優秀選手表彰	平塚市まちづくり財団	スポーツ団体等に対する支援事業	優秀な成績を収めた選手等を讃えるため、スポーツ優秀選手として表彰します。	平成26年度平塚市スポーツ優秀選手(財団) 個人 13人 団体 3団体	スポーツをする人にとっての目標になるほか、スポーツへの夢や感動、誇りや喜びなどに繋がることに寄与している。	継続	表彰対象者にとっての活力となるよう、今後も継続する。
47	体育功労者表彰	スポーツ課	体育功労者表彰	地域または職場においてスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、体育の振興に顕著な成果をあげた体育関係者及び社会体育団体を讃えるため、体育功労者として表彰します。	平成26年度神奈川県及び平塚市体育功労者 神奈川県体育功労者 1名 平塚市体育功労者 7名	スポーツの普及発展に貢献し、本市体育・スポーツの振興に寄与した。	継続	表彰対象者にとっての活力となるよう、今後も継続する。
48-1	支援金の交付	平塚市まちづくり財団	スポーツ団体等に対する支援事業	市民が生産にわたってスポーツ活動を継続できるよ引にするため、全国大会等で優秀な成績を収めた選手等に支援金を交付します。	関東1件(個人)、全国41件(個人)計56件 件、圏別14件(個人)計56件	スポーツ優秀選手等がスポーツ活動を継続することに寄与している。	継続	スポーツ活動への持続に効果があることから継続する。
48	会場使用料の援助	平塚市まちづくり財団	スポーツ団体等に対する援助事業	市民が生産にわたってスポーツ活動を継続できるよ引にするため、市内スポーツ団体が主催する一般市民を対象としたスポーツ大会の会場使用料を援助します。	会場使用料援助6件	スポーツ団体がスポーツ大会を継続して開催できることに寄与している。	継続	スポーツ活動への持続に効果があることから継続する。
50	平塚市体育協会の法人化に向けた支援	スポーツ課	平塚市体育協会の法人化に向けた支援	平塚市体育協会の自主的な活動を推進するため、法人化に向けた支援を行います。	法人化を検討するため、平塚市体育協会総務委員会への資料提供や相談、事前調査	法人化については、関係団体との調整等、確認、検討する部分が多いが、体育協会総務委員会開催等により、平塚市体育協会内の現状把握をすることが出来た。	継続	関係団体とも調整の上、今後も法人化について検討する。
51-2	小学校体育巡回授業・幼稚園・保育園巡回教室	スポーツ課	小学校体育巡回授業、幼稚園・保育園巡回教室補助事業	湘南ベルマーレの指導者がサッカーの楽しさを伝えるとともに協調性などの人間力の向上を図るため、小学校巡回授業や幼稚園・保育園巡回教室の実施に対し補助金を交付します。	小学校10校 計940人 幼稚園・保育園 計336人	サッカーを通じてスポーツへの興味・関心・楽しさが高まり、心技体の成長に寄与した。	継続	事業効果やニーズも高いことから継続していく。
52-2	平塚市トレーニングセンターへの指導者派遣	スポーツ課	平塚市トレーニングセンター指導者派遣事業	補助金交付をおとして、ジュニアサッカー選手育成のため、優れた指導力を備える湘南ベルマーレの指導者を平塚市トレーニングセンターに派遣します。	小学校21回1,512人 中学校23回1,373人	Jリーガーの輩出実績とともに礼儀や積極性などの人間力の向上にも寄与している。	継続	事業効果やニーズも高いことから継続していく。

53-2	サッカースクール	総合公園課	親子・レディーズサッカー教室、未就園児親子スポーツ教室	幼稚園上保護者、女性及び未就園児がサッカーを通じて身体を動かすことの楽しさ、木切草を愛するともに、スポーツの振興を図るとともに施設利用を拡充するため、サッカー教室やスポーツ教室を実施します。	幼稚園と保護者 延べ674組 女性 延べ178人 未就園児と保護者 延べ301組	雨天中止により実施予定数を下回ったものの多くの参加者があり、サッカーを通じたスポーツの振興が図れた。	継続	湘南ベルマーレのノウハウを活用することで魅力的な事業を展開できることから、今後も継続していく。
54-2	小学生無料招待事業(ドリームバスポート)	総合公園課	ドリームバスポート事業	質の高いスポーツに触れる機会を提供し、スポーツへの興味・関心を高めるとともにスポーツを楽しむための、総合公園で行われるプロスポーツ(湘南ベルマーレ、横浜DeNAベイスターズ、横浜ビー・コルセアーズ)の試合に小学生を無料招待します。	バスポート利用者数 延べ11,215人	ドリームバスポート利用者が前年度より増加しており、スポーツへの興味・関心を高めるとともに、スポーツを楽しむための推進に寄与した。	継続	小学生のスポーツへの興味・関心を高めるために、今後も継続する。
55-2	湘南ハイサイクル・フェス	事業課	湘南ハイサイクル・フェス2014 Xmas (後援)	地域住民の健康づくりを、「自転車」をキーワードに様々な視点から提案するため、スポーツ自転車車の展示、試乗会、スター・ジイベント、自転車の初心者教室、競輪選手によるデモレース等を実施します。	H26年度 湘南ハイサイクル・フェス Xmas 12月20日 約3,100名	当日は雨天のため、前年度(約6,200名)を下回る、約3,100名の来場となったが、自転車の普及、競輪事業の理解促進等に寄与した。なお、スポーツ自転車試乗会(屋外)がメインのイベントであることから、イベントの来場者数は天候の影響を受けやすい性質がある。	継続	自転車のまち平塚、また、競輪事業の理解促進に向け、今後も継続していく。
55-3	湘南ハイサイクル・フェス	平塚市まちづくり財団	湘南ハイサイクル・フェス2014 Xmas	市民が生産にわたるスポーツを親しむため、湘南ハイサイクル・フェスでウィーラーズスクール(自転車教室)を実施します。	H26年度 湘南ハイサイクル・フェス Xmas 12月20日 ウィーラーズスクール 59人	交通ルールやマナーを学ぶとともにゲームやミニレースで、自転車をとことん楽しむ機会を提供し、交通ルールの周知や自転車の乗り方のマナーの習得に寄与した。	継続	自転車マナーの向上とスポーツの機会の提供のため今後も継続する。
56	スポーツ指導者登録制度の創設	スポーツ課	平塚市スポーツ指導者制度運営事業	市民の誰もが生涯にわたってスポーツを楽しむ、いつまでもいきいきとした生活を送れるよう支えるスポーツの観点から及びスポーツ水準の向上を図るため、スポーツ指導者登録制度を創設します。	新規事業のため、実績等なし	なし	継続	新規事業のため。
57-3	スポーツ指導者講習会	スポーツ課	平成26年度平塚市スポーツ指導者講習会	地域で活動するスポーツ指導者の質の向上を図るため、スポーツ指導者講習会を実施します。	平成27年2月28日開催 「ジュニア期の怪我 その特徴と治療」151名が参加	医学的観点からの専門知識を学ぶよい機会となり、ジュニア期の指導者の育成・技術向上に寄与した。	継続	受講者の多くが小中学生を指導している指導者のため、その点に留意し、講習内容・講師を十分に検討しながら継続する。
59	スポーツ指導者の派遣先の募集	スポーツ課	スポーツ指導者の派遣先の募集	指導者の活躍の場を確保するため、指導者を求める団体やスポーツ愛好者を募集します。	新規事業のため、実績等なし	なし	継続	新規事業のため。
60-1	トップスポーツの試合の招致・開催	みどり公園・水辺課	各種ビーチスポーツの全国大会、プロレベルの試合等の誘致	トップレベルのビーチスポーツに触れる機会を提供し、普及促進を図るため、ビーチスポーツの全国大会等を招致します。	3on3バスケットのトップリーグの開幕戦、ビーチラクビーの全国大会を誘致しました。	7月12日の海開きにあわせ、新たに3on3のトップリーグの開幕戦が実施され、多くの観戦者があり、スポーツの興味関心を高めた。	継続	相模湾沿岸でも数少ないビーチスポーツの拠点として、今後とも質の高いレベルのビーチスポーツに接する機会の提供に努めていく。

50-2	トップスポーツの試合の 招致・開催	総合公園課	スポーツ大会招致	質の高いスポーツ観戦の場を提供し、スポーツへの興味・関心を高めるとともに、総合公園でプロスポーツの大会を開催します。	NEB、WJBL各1試合、全日本学生陸上競技個人選手権開催	今年度は、新規にWJBLの試合を開催し、スポーツへの興味・関心を高めるとともに、スポーツを楽しむための推進に寄与した。	継続	スポーツを楽しむための推進するため、今後多様なスポーツ誘致を行えるよう工夫しながら継続する。
51	全国規模のスポーツ大会などの主催者への支援	スポーツ課	全国規模のスポーツ大会などの主催者への支援	市民のスポーツへの興味・関心を高めるため、広く市民が観戦できる全国規模のスポーツ大会などを開催する団体を支援します。	計3団体の支援を実施	本市において、全国規模のレベルの高い大会が開催されることにより、それを観戦した人のスポーツへの興味・関心を高めることに寄与した。	継続	市民へのスポーツを観る機会の創出のために今後も継続していく。
52-2	トップアスリートを活用したイベントの開催	平塚市まちづくり財団	ひらつか市民スポーツフェスティバル開催事業【再掲】	地域住民のスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、生涯にわたる健康・体力づくりを推進するための機会を提供することで、健康で明るいまちづくりに寄与するため、総合公園全施設を利用してスポーツ体験教室等を実施します。	トップアスリート(小倉久美子さん)スポーツ教室とトークショー 94名	トップアスリートの直接指導は、参加意欲を喚起し参加者増につながること、多くの市民にスポーツのきっかけづくりとなることにもスポーツへの興味関心を高めることに寄与した。	継続	スポーツへの興味関心を高め、きっかけづくりとなる事業であるため、継続していく。
52-3	トップアスリートを活用したイベントの開催	スポーツ課	ひらつか市民スポーツフェスティバル開催事業(後掲)【再掲】	地域住民のスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、生涯にわたる健康・体力づくりを推進するための機会を提供することで、健康で明るいまちづくりに寄与するため、総合公園全施設を利用してスポーツ体験教室等を実施します。	第2回開催 平成27年3月29日(日) 会場 平塚市総合公園 参加種目団体 32団体 来場者 15,000名(参加者7,253名、役員、関係者584名)	市長のスポーツへの興味関心を高め、スポーツをするきっかけづくりとなっている。	継続	スポーツへの興味関心を高め、きっかけづくりとなる事業であるため、継続して協力を。
53-3	横浜DeNAベイスターズ、横浜ビー・コルセアーズを活用したイベントの開催	総合公園課	小学校選手訪問	スポーツへの興味・関心を高めるとともに、スポーツを楽しむことの楽しさを知ってもらうため、プロスポーツで活躍する選手が学校を訪問し、児童と直接触れ合いながらスポーツの魅力を伝えます。	学校訪問 延べ24校、参加児童1,934人	プロスポーツで活躍する選手と児童が触れ合い、児童にプロスポーツへの興味・関心をもってもらえるとともに、スポーツを楽しむことの楽しさを知ってもらう機会を提供することができた。	継続	プロスポーツ選手と直接触れ合う機会提供は、児童にとって大変貴重なものであり、スポーツ・振興に大きく寄与するため、継続する。
54	横浜DeNAベイスターズ、横浜ビー・コルセアーズを活用したイベントの開催	スポーツ課	なし	スポーツを観る「する」につながるために本市と関係のあるプロスポーツチームを活用した事業展開を検討します。	なし	なし	継続	活用方法を今後も研究していく。
54	スポーツ施設の運営・管理	スポーツ課	スポーツ施設の運営・管理	スポーツをする場を提供するため、スポーツ施設を運営・管理します。	体育施設利用状況計644,857人 (横浜町・軟式庭球場、王前住運動広場、小・中夜間照明施設、大神スポーツ広場、土沢多目的広場、土沢野球場、パークゴルフ場)	スポーツ課管理の体育施設の維持・管理、運営を行い、市民にスポーツする場を提供し、市民のスポーツをする機会に貢献した。	継続	市民の健全な体育活動の普及発展のため、スポーツ施設を効果的に維持・管理・運営を継続していく。
55-1	有料公園施設の運営・管理	みどり公園・水辺課	効率的な施設の運営・管理	スポーツを楽しむ場を提供するため、湘南海岸公園内のフットサルコートを利用貸出を行います。※利用形態：1時間300円(2時間を1コマとして貸出)	屋外専用フットサルコートとして、市で行っている唯一の施設で安面でフットサル愛好家に提供しています。 (利用団体数30)	フットサル愛好家にフットサルをする場の場の提供ができた。 平日の利用率は低いですが、土日祝の利用率は57%であった。	継続	利用者にとって安全で快適な利用ができるような運営・管理を継続する。

65-2	有料公園施設の運営・管理	効率的な施設の運営・管理	市民がスポーツをする「見る」場の機会を提供するため、スポーツ施設を運営・管理します。	利用者数1,013,854人 (総合公園内体育館、陸上競技場、野球場、テニスコート、馬入アリーナ、サッカー場)	スポーツを楽しめる場所の拡充が図れた。スポーツをする「見る」機会が増えた。	継続	利用者にとって安全で快適な利用ができるような運営・管理を継続する。
66	学校体育施設開放の個人利用の促進	平塚市立小中学校運動場、体育館個人開放利用促進事業(再掲)	市民が身近な体育施設でスポーツをする場を提供するため、東海大学地域スポーツクラブと協働して、小中学校体育施設を個人でも利用できるよう開放します。	小中学校の体育館を利用して、一人でも利用できる個人利用の日を設けた。 開放校 金目中学校 年19回 みずほ小学校 年10回 参加者 延べ949人	身近な体育施設を個人でも利用できることにより、スポーツを実施する機会が増えた。	継続	3年間は協働事業として実施する。
67-1	指定管理者制度の活用	ビーチセンターへの指定管理者の導入	効率的な施設の運営・管理に努めるため、ビーチスポーツ等のノウハウを活用し、指定管理者を導入します。	各種ビーチスポーツの大会誘致や体験教室を開催し、施設の活用と普及に努めています。	夏期を中心に施設の活用、ビーチスポーツの普及には資しているが、シーズンオフの運営については工夫が必要である。	継続	今後とも、指定管理者のノウハウを活かした施設の運営・管理に努めていきます。
67-2	指定管理者制度の活用	馬入ふれあい公園指定管理	コスト削減し効率的な管理・運営を行うため、馬入ふれあい公園の管理運営業務について指定管理者制度を導入します。	馬入ふれあい公園指定管理事業者 1社	管理運営上での様々な事務改善がなされ、効率的な運営が実施できた。	継続	今後民間企業のノウハウを活用した効率的な管理運営が期待されるため、継続する。
67-3	指定管理者制度の活用	指定管理者制度の活用	市民サービスの向上と経費の削減を図るため、指定管理者制度を活用します。	横浜町庭球場・軟式庭球場・大神スポーツ広場 湘南ひらつかいパークゴルフ場・土沢野球場・土沢多目的広場	スポーツを楽しむ環境の充実を図るため、施設の運営・管理に努めた。	継続	今後民間企業のノウハウを活かして効率的な管理運営に努めていく。
68	公民館附属体育館の運営・管理	公民館附属体育館の運営・管理	市民がスポーツの場を提供するため、市内5館に併設された公民館付体育館の管理・運営を行います。	延6,304回・延122,666名が利用。	前年度に比べ、利用者数が2,629名増加し、スポーツをする機会に寄与した。	継続	平成27年度からは一括受付で予約可能な回数を変更することにより、既存団体の利用を制限することなく新規登録団体も利用しやすい受付方法に変更する。
69	未利用地所有者との調整	未利用地所有者との調整	市民がスポーツに取り組み場所を増やすため、未利用地の借用に向けた調整を土地所有者と行います。	新規事業のため、実績等なし	なし	継続	調査研究を進める。
70	県スポーツ施設の借用	県スポーツ施設の借用	市民がスポーツに取り組み場所を増やすため、県スポーツ施設の借用に向けた調整を県と行います。	新規事業のため、実績等なし	なし	継続	調査研究を進める。

71	民間スポーツ施設の借用	民間スポーツ課	民間スポーツ施設の借用	市民がスポーツに取り組む場所を増やすため、民間スポーツ施設の借用に向けた調整を施設管理者と行います。	新規事業のため、実績等なし	なし	調査研究を進める。
72-1	スポーツに関する情報の提供	スポーツ課	市内スポーツ情報ポータルサイトの構築・運営事業【再掲】	スポーツを希望する市民がいつでも、どこでも、手軽にホームページから市内のスポーツ団体・イベントに関する活動情報を得ることができるようになるため、民間事業として平塚市内のスポーツ情報を取り纏めたポータルサイトを構築・運営します。	ポータルサイトの総合設計・テスト79団体のスポーツ団体のページの作成、32施設のスポーツ施設の情報掲載。	多くのスポーツ団体や施設情報の掲載を行うのみならず、スポーツ団体がイベント等の記事投稿ができる機能を整備することにより、市民が関心あるスポーツ情報をいつでも、どこでも、手軽に得る事ができる様にサイトの構築を行うことができました。	平成26年度は協働事業の1年目の年であり、主にサイトの構築作業を行った。今後、平成27、28年度で事業の目的を達成できる様に、事業を継続する。
72-2	スポーツに関する情報の提供	平塚市まちづくり財団	スポーツタウンひらつかの発行等	スポーツに対する参加意欲を高め、健康増進へのきっかけづくりや機会の提供を図るため、「スポーツタウンひらつか」の発行やホームページを開設し、スポーツ情報を提供します。	スポーツタウンひらつか年3回発行4,000部/回ホームページによる教室内等の情報発信	スポーツへの興味関心を高めるとともに多くの方の参加参加に繋がり、健康の保持増進に寄与している。	スポーツ情報の提供は重要のため、今後の継続する。
73	地元メディアの活用	スポーツ課	地元メディアの活用	スポーツに関する情報を広く市民に提供するため、地元メディアを活用します。	平成26年度現在の実績等なし。	なし	地元メディアと連絡調整を行い、効果的な情報発信が可能となるよう、検討する。

【スポーツ推進計画個別事業別評価表】

1 生涯スポーツの推進

(1) 成人のスポーツ機会の充実

具体的施策	No	個別事業	実施課	進捗状況			成果	
				順調	若干遅れ	遅れ	成果あり	概ね成果あり
①スポーツの普及啓発 ②生活習慣病予防のための運動教室 ③健康づくりの推進 ④地域における身近な運動機会の充実	1-6	ひらつか市民スポーツフェスティバル開催事業	平塚市まちづくり財団	■			■	
	1-7	ひらつか市民スポーツフェスティバル開催事業(後援)	スポーツ課	■			■	
	2-1	各種ビーチスポーツ講習会の開催	みどり公園・水辺課	■			■	
	2-2	BEACH RUGBY JAPAN TOUR2014 第24回関東大会及び第19回全国大会	スポーツ課	■			■	
	3	腹囲マインナス教室、糖尿病予防教室	健康課	■			■	
	4	健康づくり推進事業	健康課	■			■	
	5	健康推進員養成講座	健康課	■			■	
	6	健康推進員スキルアップ!講座	健康課	■			■	
	7	地域健康づくり活動支援プログラム	健康課	■			■	
	8	地域健康づくり支援事業	健康課	■			■	
	9	公民館における自主事業等	中央公民館	■				■
	10	市民総合体育大会・各種スポーツ大会の開催	スポーツ課	■				■
	11	市民体育レクリエーション地区大会	中央公民館	■				■
	12	スポーツ教室・健康講座	平塚市まちづくり財団	■			■	
	13	手話ダンスによる健康づくり事業	スポーツ課	■			■	
14	平塚市スポーツボランティア制度運営事業	スポーツ課			■		■	
15	スポーツボランティアの活用	スポーツ課	■				■	

(2) 子どものスポーツ機会の充実

①親子で楽しむスポーツ活動の充実 ②小中学校体育の授業内容の充実 ③中学校部活動の推進 ④子どもを対象としたスポーツ活動の充実	16	ミニミニ運動会	保育課	■			■	
	17	親子で遊ぼうフェスティバル	保育課	■			■	
	18	幼稚園・小中学校訪問	教育指導課	■			■	
	19	中学校部活動推進事業(研究推進協議会)	教育指導課	■			■	
	20	中学校部活動推進事業(指導者派遣事業)	教育指導課	■			■	
	21	中学校全国・関東大会等出場者激励事業	教育指導課	■			■	
	22	平成26年度平塚市青少年交流体験事業	青少年課	■				■
	23	少年少女スポーツ大会	スポーツ課	■				■
	24	小学校プール開放事業	スポーツ課	■			■	
	25	市民総合体育大会・各種スポーツ大会の開催	スポーツ課	■				■
	26	子どもを対象としたスポーツ教室・健康講座	平塚市まちづくり財団	■			■	

具体的施策	No.	個別事業	実施課	進捗状況			成果	
				順調	若干遅れ	遅れ	成果あり	概ね成果あり
(3) 高齢者のスポーツ機会の充実								
①介護予防の運動の充実	27	介護予防運動機能向上事業	高齢福祉課					
	28	介護予防運動機能向上事業	高齢福祉課	■				■
	29	転倒骨折予防教室事業	高齢福祉課	■				■
	30	地域運動教室支援事業	高齢福祉課	■				■
	31	老人クラブ支援事業(ゆめクラブ湘南平塚スポーツ大会)	高齢福祉課	■				■
②高齢者を対象とした地域における身近な運動機会の充実	32	老人クラブ支援事業(ゆめクラブ湘南平塚ゴルフ大会)	高齢福祉課	■				■
	(4) 障がい者のスポーツへの参加促進							
①障がい者スポーツ活動の支援	33	障がい者スポーツ大会などへの参加支援	障がい福祉課	■				■
	34	心身障がい児者レクリエーション大会	障がい福祉課	■				■

具体的施策	No.	個別事業	実施課	進捗状況			成果	
				順調	若干遅れ	遅れ	成果あり	概ね成果あり
2 地域スポーツの推進								
(5) 地区体育・スポーツの普及・発展								
①地区体育・スポーツの振興	35-2	地域のスポーツ活動委託事業	スポーツ課	■			■	
	36	スポーツ普及員の創設	スポーツ課	■				
	37-1	市民活動団体との協働事業	協働推進課	■			■	
	37-2	市内スポーツ情報ポータルサイトの構築・運営事業	スポーツ課	■			■	
(6) ニュースポーツ・レクリエーションの普及								
①スポーツ推進委員の資質向上	38-2	スポーツ推進委員活動事業(スポーツ推進委員研修会の開催)	スポーツ課	■			■	
	39	スポーツ推進委員活動事業(県研修会などへの派遣)	スポーツ課	■			■	
(7) 総合型地域スポーツクラブの育成・支援								
①総合型地域スポーツクラブの育成・支援	40	総合型地域スポーツクラブの相談・支援事業	スポーツ課		■			■
(8) 大学などとの連携強化								
①大学と地域との連携強化	41-2	平塚市民・大学交流事業[平塚市中学生陸上競技教室]	スポーツ課	■			■	
	42-3	2014 平塚市民・大学スポーツ交流フェスタ	スポーツ課	■			■	
	43-2	平塚市立小中学校運動場、体育館個人利用促進事業	スポーツ課	■			■	

具体的施策	No.	個別事業	実施課	進捗状況			成果	
				順調	若干遅れ	遅れ	成果あり	概ね成果あり
3 トップスポーツの推進								
(9) 地元トップアスリートの輩出								
①選手の競技力強化	44-2	競技力強化委託事業	スポーツ課	■				
②選手の派遣	45-2	選手派遣事業(かながわ駅伝大会への選手派遣)	スポーツ課	■			■	
③表彰制度の充実	46-2	平塚市スポーツ優秀選手表彰	スポーツ課	■			■	
	46-3	スポーツ団体等に対する支援事業	平塚市まちづくり財団	■			■	
	47	体育功労者表彰	スポーツ課	■			■	
④優秀選手などによる支援	48-1	スポーツ団体等に対する支援事業	平塚市まちづくり財団	■			■	
	49	スポーツ団体等に対する援助事業	平塚市まちづくり財団	■			■	
⑤平塚市体育協会の自立支援	50	平塚市体育協会の法人化に向けた支援	スポーツ課	■			■	
(10) 湘南ベルマーレとの連携強化								
①サッカー文化の振興	51-2	小学校体育巡回授業、幼稚園・保育園巡回教室	スポーツ課	■			■	
	52-2	平塚市トレーニングセンター指導者派遣事業	スポーツ課	■			■	
②サッカーを中心としたスポーツ振興	53-2	親子・レディースサッカークラス教室、未就園児親子スポーツ教室	総合公園課	■			■	
	54-2	ドリウムバスポート事業	総合公園課	■			■	
③自転車を活用したスポーツの推進	55-2	湘南バイクシクル・フェス2014 Xmas (後援)	事業課	■			■	
	55-3	湘南バイクシクル・フェス2014 Xmas	平塚市まちづくり財団	■			■	
(11) スポーツ指導者の発掘と活用								
①スポーツ指導者の確保	56	平塚市スポーツ指導者制度運営事業	スポーツ課	■				
	57-3	平成26年度平塚市スポーツ指導者講習会	スポーツ課	■			■	
		平塚市体育協会指導者講習会	スポーツ課	■			■	
③スポーツ指導者の派遣	59	スポーツ指導者の派遣先の募集	スポーツ課			■		
(12) トップスポーツの活用								
①トップスポーツに触れる機会の拡大	60-1	各種ビーチスポーツの全国大会、プロレベルの試合等の誘致	みどり公園・水辺課	■			■	
	60-2	スポーツ大会招致	総合公園課	■			■	
②全国規模大会などの招致	61	全国規模のスポーツ大会などの主催者への支援	スポーツ課	■			■	
	62-2	ひらつか市民スポーツフェスティバル開催事業【再掲】	平塚市まちづくり財団	■			■	
	62-3	ひらつか市民スポーツフェスティバル開催事業(後援)【再掲】	スポーツ課	■			■	
③トップアスリートの活用	63-3	小学校選手訪問	総合公園課	■			■	
	63-4	横浜DeNAベイスターズ、横浜ビー・コルセアーズを活用したイベント	スポーツ課			■		■

具体的施策	No.	個別事業	実施課	進捗状況			成果	
				順調	若干遅れ	遅れ	成果あり	概ね成果あり
4 スポーツを楽しむ環境づくり								
(13) スポーツ施設の充実								
①効率的な施設の運営・管理	64	スポーツ施設の運営・管理	スポーツ課	■			■	
	65-1	効率的な施設の運営・管理	みどり公園・水辺課		■			■
	65-2	効率的な施設の運営・管理	総合公園課	■				
	66	平塚市立小中学校運動場、体育館個人利用促進事業	スポーツ課	■			■	
	67-1	ビーチセンターへの指定管理者の導入	みどり公園・水辺課	■				■
	67-2	馬入ふれあい公園指定管理	総合公園課	■			■	
	67-3	指定管理者制度の活用	スポーツ課	■			■	
	68	公民館付属体育館の運営・管理	中央公民館	■				■
	69	未利用地所有者との調整	スポーツ課	■				
	70	県スポーツ施設の借用	スポーツ課	■				
71	民間スポーツ施設の借用	スポーツ課	■					
②その他の施設の有効活用								
(14) スポーツ施設の充実								
①スポーツ情報の提供	72-1	市内スポーツ情報ポータルサイトの構築・運営事業【再掲】	スポーツ課	■			■	
	72-2	スポーツタウンひらつかの発行等	平塚市まちづくり財団	■			■	
	73	地元メディアの活用	スポーツ課		■			

進捗状況

- 1: 予定どおり(活動指標に対し90%以上の実施)
- 2: 若干遅れている(活動指標に対し70%以上90%未満の実施)
- 3: 遅れている(活動指標に対し70%未満の実施)

検証結果

- A: 成果があがった(成果指標に対し90%以上の成果)
- B: おおむね成果があがった(成果指標に対し70%以上90%未満の成果)
- C: 十分に成果をあげることができなかった(成果指標に対し70%未満の成果)